

Innovation
design
Platform



代表者:

東京工業大学 早川 智義

採択テーマ:

列車の混雑を見える化し、乗客が
安く乗れるかつ、混雑を緩和し、
安心して移動できる社会の実現

課題名 列車の混雑を見える化し、乗客が安く乗れるかつ、混雑を緩和し、安心して移動できる社会の実現

技術シーズの概要

コロナ前は満員電車。コロナ後は“混雑に対する恐怖”が芽生えた中で、通勤・通学における混雑緩和対策に国、各鉄道会社も取り組んでいる。アプリでの混雑情報やオフピーク通勤でのポイント等の取り組みも行われているが、利用は、一部の乗客のみであり、多くの乗客の行動変容を起こすまでには至っていない。

本研究は、IoTデバイスにより列車の混雑をリアルタイムに見える化し、利用者が自ら選択して混雑を回避できるように情報を提供し、混雑の緩和に寄与する。



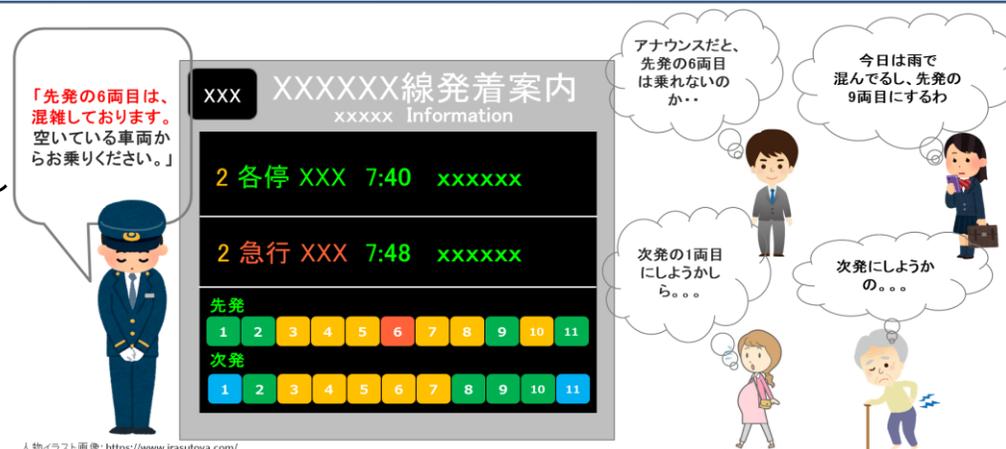
ビジネスモデル(申請時)

本提案は、列車内の混雑度情報を①リアルタイム、②安価に提供し、そのシステムを利用して、③サービス向上を目的とした混雑見える化システム提案である。

活動計画(申請時)

活動計画は、混雑の見える化である。混雑度情報提示と混雑緩和を目的としている。

- ・第1ステップにて、我々の開発したシステム(装置)で混雑を計測し、リアルタイムで見える化する
- ・第2ステップにて、利用者が自ら選択して混雑を回避できるような行動変容を促す



人物イラスト画像: <https://www.irasutoya.com/>

利用者が自ら選択して混雑を回避